

神経精神科学

責任者： 神経精神科学講座 教授

教育成果（アウトカム）：

精神医学は、その対象が、心の病気という精神的、心理的、身体的な複雑な問題を持った患者さんである。今まで培ってきた基礎医学的知識や臨床医学的知識を再確認し、さらに臨床医学的技能を総合的に駆使することで、問題の解決に当たる能力を身につける。

行動目標（SBOs）：

- * 1. 初診時に患者さんや家族とよい関係が作れる。
- * 2. 初診の面接、問診で情報の収集ができる。
- * 3. 他科の医師、看護師から情報収集ができる。
 - 4. 病歴の項目を列挙でき、その項目について精神医学的に必要な内容を予測する。
 - 5. 精神医学の病歴は患者さん自身から聴取する場合と、家族などから聴取する場合とがある。両者の場合を想定し、どんな場合かを述べることができる。
- * 6. 精神科におけるよい病歴とは何か説明できる。
 - 7. 心理学的症状の基本的観察法を2つ列挙し、その長所と短所を説明できる。
 - 8. 問診法について説明する。
 - 9. 問診で注意すべき点をあげることができる。
- * 10. 精神症状の所見がとれる。
 - (1) 患者さんとコミュニケーションする。
 - (2) 疎通性を理解し、感じることができる。
 - (3) 知覚障害の症状を列挙し説明できる。
 - (4) 思考障害の症状を列挙し説明できる。
 - (5) 感情障害の症状を列挙し説明できる。
 - (6) 意志障害の症状を列挙し説明できる。
 - (7) 意識障害の症状を列挙し説明できる。
 - (8) 自我意識障害の症状を列挙し説明できる。
 - (9) 性格障害を分類し説明できる。
 - (10) 症状群を列挙し説明できる。
- 11. 身体所見、神経学的所見がとれる。
- 12. 検査を選択（実行）、解釈できる。
 - (1) CT、MRI、SPECT 所見を評価する。
 - (2) 進行麻痺における髄液所見を説明する。
 - (3) 覚醒時および睡眠時の脳波所見について説明できる。
 - (4) 脳波上の特異的異常所見と非特異的異常所見について説明できる。
 - (5) 心理検査の種類をあげ説明できる。
- 13. 各精神疾患についての診断および鑑別診断ができる。
 - (1) 各精神疾患の疫学的特長を説明できる。

- (2) 各精神疾患の原因および原因論について説明できる。
- * (3) 診断基準を使用し診断できる。
- (4) 神経症の理論について説明できる。
- 14. 経過を予測できる。
- 15. 薬物の選択ができその理由について説明できる。
- * 16. 精神療法の種類を列挙し説明できる。
- 17. 理学療法の種類を列挙できる。
- 18. レクリエーション療法に参加する。
- 19. コンサルテーション・リエゾン精神医学について説明できる。
- * 20. 指導医に患者さんの状況を説明できる。
- 21. 指導医に指導を求めることができる。
- * 22. 精神保健福祉法について説明できる。
- * 23. 精神保健福祉法のもとの入院の種類を列挙し、説明できる。
- * 24. 診療記録の判読と記載ができる。
- * 25. 教授回診時に、患者さんの状況、検査のデータを説明できる。
- * 26. 症例発表会に参加する。
- * 27. 抄読会に参加する。

特に留意すべき注意事項：

1. 守秘義務を厳守すること。
2. 患者さんに接する場合には、診療チームの一員として自覚を持ち言葉遣い、態度、服装に注意を払うこと。
3. 患者さんの前で私語、失笑などをしないこと。
4. 精神科病棟への入室は規定に従うこと。
5. 患者さんと接するとき、治療方針などについては指導医、主治医とよく連絡を取るようにすること。
6. 患者さんにできない約束をしないこと。
7. カルテの持ち出しやコピーはしないこと。
8. 実習中、疑問点があれば些細なことでも、指導医や主治医に尋ね解決をはかること。

事前学修時間：

シラバスに記載されている次回の授業内容を確認し、教科書・レジメを用いて事前学修（予習・復習）を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低 30 分を要する。本内容は全授業に対して該当するものとする。

第5学年臨床実習スケジュール[神経精神科学]

[第1週]

指導医師名： ①神経精神科学講座教授 ②大塚耕太郎講師 ③星克仁講師 ④吉田智之助教 ⑤工藤薫助教

曜	1 時限	2 時限	3 時限	4 時限
月	レクチャー、外来実習・病棟実習	外来実習・病棟実習	外来実習・病棟実習	外来実習・病棟実習、レクチャー
[場 所]	[外来・病棟]	[外来・病棟]	[外来・病棟]	[外来・病棟]
[指導医]	⑤	②③④⑤	②③④⑤	②③④⑤
火	外来実習・病棟実習	外来実習・病棟実習	ベッドサイドレクチャー	ベッドサイドレクチャー、 レクチャー
[場 所]	[外来・病棟]	[外来・病棟]	[外来・病棟]	[外来・病棟]
[指導医]	①②③④⑤	①②③④⑤	②③④⑤	②③④⑤
水	外来実習・病棟実習	外来実習・病棟実習	外来実習・病棟実習	外来実習・病棟実習、レクチャー
[場 所]	[外来・病棟]	[外来・病棟]	[外来・病棟]	[外来・病棟]
[指導医]	②③④⑤	②③④⑤	②③④⑤	②③④⑤
木	外来実習・病棟実習	外来実習・病棟実習	外来実習・病棟実習	外来実習・病棟実習、レクチャー
[場 所]	[外来・病棟]	[外来・病棟]	[外来・病棟]	[外来・病棟]
[指導医]	④⑤	④⑤	④⑤	④⑤
金	外来実習・病棟実習	外来実習・病棟実習	回診	レクチャー、まとめ
[場 所]	[外来・病棟]	[外来・病棟]	[病棟]	[病棟、医局]
[指導医]	①②③④	①②③④	①	①②

授業に使用する機械・器具と使用目的

使用区分	使用機器・器具等の名称	台数	使用目的
視聴覚用機械	ノート型 PC	1 台	臨床実習における症例検討、資料作成
視聴覚用機械	DVD プレーヤ	1 台	臨床実習におけるビデオ学習
視聴覚用機械	データプロジェクター	1 台	臨床実習における症例検討会
その他	カラーレーザープリンター	1 台	臨床実習における講義資料作成
その他	複合機	1 台	講義資料作成用
視聴覚用機械	壁寄 TV スタンド	1 台	教育用 DVD 鑑賞
視聴覚用機械	50 型プラズマテレビ	1 台	教育用 DVD 鑑賞

成績評価方法

臨床実習評価は以下の項目について 100 点満点で評価する。

1. 受講態度：20 点
2. 実習評価 1（教員による学生評価シート I）：10 点
3. 実習評価 2（教員による学生評価シート II）：20 点
4. 実習初日試験：25 点
5. 国家試験問題形式の口頭試問：25 点